

2024年高専祭コーヒーショップ出店

佐世保支部長 中田 敦典 (10E)

11月9日(土)から10日(日)にかけて母校で開催された高専祭に佐世保高専同窓会佐世保支部がコーヒーショップを出店しました。

コーヒーショップは正門から入って噴水奥の50周年記念館八角堂で行いました。一杯100円のコーヒーを2日間で427杯42,700円を販売して目標の400杯以上を達成しました。

佐世保支部同窓生有志の皆さんで結成された「シブバンド」によるバンド演奏を終日やっていただき、来店された多くのお客様に楽しんでいただきました。中には2日間ともお見えになった方もいらっしゃいました。すっかりファンになっていただいたようです。

2日目はお昼から雨が降り出してお客様の入りが心配されましたが、雨の中八角堂の前で必死に呼び込みを行いお客様に入店していただきました。

同窓生の方もちらほらお見えになって「八角堂を初めて見た」とか「八角堂で同窓会がコーヒーショップ出店してるって初めて見た」という方もいらっしゃいました。

これからも高専祭・文化祭でこの八角堂コーヒーショップ出店を継続して、そこに行けば同窓生に会えるという状況を作っていきたいと思います。

このコーヒーショップ出店にご協力いただいたボランティアの皆様、「シブバンド」の皆様お疲れ様でした。



八角堂（創立50周年記念館）の中での記念写真

【会員投稿】

「高専」はメジャーになったのか？

ー最近思うことー

電気工学科卒 (4E) 山口 健二

高専創立から60年を優に超えた。はたしてこの60年という時間の中で高専というシステム、卒業生等々は日本社会の中でメジャーになりえたのだろうか。把握していないので明確ではないが、あるいは卒業生の中で数多の人たちが社長になったかもしれない。しかしそれだけでメジャーとは言えんだろう。

高専一期生が日立製作所の入社試験を大学卒と一緒に受けて同じ問題を解き、結果は佐世保高専生（電気工学科）のひとりが大学卒を差し置いてトップとなり、「高専卒は使える」と世に知らしめたという話を聞いたことがある。

私は1970年に当時はそれほど有名ではなかった日本電気株式会社（NEC）に入社した。入社の際は大学卒と同じように扱われ、給与は年齢差分マイナス a があった。

しばらくして異動した部門（通信機のハードウェア方式開発）のメンバーほとんどが、東大工学部、東工大、早稲田の理工や慶應の工学部卒といった学歴の持ち主だらけだった。当時の日本電気は通信部門がいわゆる保守本流であり、優秀な連中のほとんどが通信部門（伝送、交換、無線）に配属されていた。

そうした中に鈴鹿高専一期生の人が入り、前述の華やかな学歴の連中を歯牙にもかけず結果を残されていた。一時期私の直属の上司でもあった。他の高専の一期生もかなり優秀な人がおられ、国内留学と称して東大の研究室で1年間研修された人もいた。

初期の頃はそうした優秀な人を輩出していたが、それで高専の名が上がり、今の社会でどれほど高専という教育機関が認知されているのか、甚だ心もとない気がする。

1962年は、振り返ってみれば高度経済成長のとは口であり、まさに即戦力としての技術者の養成が愁眉の急であったことがわかる。しかし、失われた30年を含めこれからは非常に厳しいことになるのではなかろうか。（以上）

「自分史」

工業化学科卒（5C） 古賀 光信

昨年3月に現役を引退して1年が過ぎようとしている。思えば高専卒業後53年間のサラリーマン生活、長い間よく頑張ったと自分を褒めたい。

人それぞれの生き方はあるが、自分の刻んできた足跡を確認する意味で「自分史」をまとめてみた。その中から抜粋する形で投稿します。

1971年高専を卒業し化学会社U社へ就職した。化学専攻なので化学の仕事に就けたのは本望だった。しかし、2年目に試運転中の装置トラブルで死に目に遭う。この時亡くなっていれば当然今は無い、結婚も家族もない。幸いかすり傷一つなく無事にU社で定年を迎えられた。U社では大阪勤務がベースであったが、他社との事業合併会社を立ち上げたので4年間東京勤務となった。朝の通勤ラッシュは本当に辛かった。九州の田舎で生まれ山や海を見て育った私には、関東平野の中での生活は精神的に合わないと感じた。

定年後、縁あってプラスチック成形のS社へ拾われて、兵庫県北部豊岡市の工場勤務第2のサラリーマン生活を送った。65歳までと思っていたが73歳まで13年間もお世話になった。豊岡は山・川・田・海の揃った所で、すこぶる性に合う生活であった。春は桜で花見、夏は緑の山と青い海を眺め、秋は黄や赤の紅葉を楽しみ、冬は雪景色で心を癒す事ができた。単身赴任だったので、大阪～豊岡（往復約400km）をほぼ毎週車で行き来した。単純に計算して400km×52週/年×13年≒27万km走った。よく飽きなかったものである。

人生を振り返ってみると、優れた頭脳を持っていたわけではないが、根性と忍耐力で何事も前向きに飽きずに好奇心を持って継続してきたと思う。仕事も遊びも。これには高専の5年間の礎になっている。これから何年生

きれるかわからないが、家族や友人やお世話になった人々に感謝の念を持ち続け、一日一日を悔いなく生きて行きたいと思う。（以上）

学生時代の思い出（お店編）

機械工学科卒（2M） 山田 正見

多分皆さんもご存知の千成食堂の話です。高専正門のすぐ近くにある小さな食堂です。学生時代は遅くまで起きていて、夜中腹が減ると寮の仲間と良くおでんを食べに行ったものでした。奨学金が1か月1500円程度で有り、小遣いはこれだけだから、毎日行けない。でも店の人は親切でした。卒業後40年位後の話です。佐世保に住む後輩との待ち合わせ場所を、佐世保高専の正門前としました。

私は名古屋から長崎空港へ飛び、それからレンタカーで佐世保高専目指して走りました。佐世保市に入れば迷う事はないと思って走りました。ところが新しい高速道路が出来ていて、高専の近くに来ているはずなのに、さっぱり位置が判りません。車を降りて見回していたら、偶然「千成食堂」という看板が目に入り、40年前の千成食堂が蘇りました。すぐ「高専はこっちだ」と判断し、無事後輩と会う事が出来ました。

千成食堂のおかげで母校を見つける事が出来ました。「千成食堂、立派な建物になったな。」寮生時代を思い出した瞬間でした。ところで奨学金の話ですが、就職後暫くすると返済が始まり、少し苦労しましたが、期限通り返済しました。返済完了の通知が来た時はホットしました。これも、もう一つの思い出です。（以上）

chukoh 中興化成工業株式会社

1963年松浦市で創業以来、ふっ素樹脂を主力とした高機能樹脂の総合加工メーカーとして歩んできました。佐世保高専卒業生は18人が在籍し、お客様の課題にソリューションを提供するために国内外で活躍しています。

F1 松浦工場：長崎県松浦市今福町北免 1642-12 TEL：0956-73-8111（代表）

機械工学科
18期卒業

取締役 執行役員
松浦工場 工場長
大久保 篤



【全国大会出場等の部活動報告（在校生）】

バスケットボール部 物質工学科5年 土肥 航輝

51年ぶりの全国優勝！みなさんにこの報告ができることうれしく思います。昨年は全国高専大会予選リーグ敗退と悔しい思いをし、この一年間チームで苦しい練習を乗り越えてきました。今年のメンバーは上級生も下級生も積極的にゴールにアタックでき、ハードなディフェンスもできるチームバスケットを主体としていました。北海道の釧路で行われた全国高専大会では、登録メンバーの全員が試合に出場し得点を取ることができました。結果として優勝することができ、最後の高専大会でいい思い出を作ることが出来ました。最後になりますが、いつも熱心な指導をしていただいた顧問の先生方、コーチ、そして数々のご支援いただきましたOB会の皆様、常に寄り添ってくれた保護者のみなさま本当にありがとうございました。



（バスケットボール部）

女子バレーボール部 電子制御工学科5年 空閑 楓

女子バレーボール部は、昨年8月に行われた九州高専大会で優勝し、その後の全国高専大会で準優勝という結果を残すことができました。後援会の皆様にご支援いただき、全国大会という大舞台でプレーできたこと、深く感謝申し上げます。目標としていた優勝に届かなかったことには悔いがありますが、全員の力を十二分に発揮できた大会だったと思います。来年度のチームには、全国で活躍した選手たちが多く残ります。そのため、来年度のチームは全国でも優勝を目指せる強いチームになると

期待しています。今回の経験は今後の人生においても貴重で、意味のあるものとなったと感じています。部活動で得た学びをこれからの活躍の場で活かしていきたいです。最後になりますが、これまで支えてくださった先生方をはじめ、バレー部のメンバー、ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました。



（女子バレーボール部）

卓球部

機械工学科5年 國知出 透羽

私たち卓球部は今年度新たに心強い内部コーチを迎え、目標である九州高専大会優勝に向けて日々練習に取り組みました。その結果、令和6年度九州高専大会ではシングルスは1名がベスト4入り、ダブルスが準優勝し、ダブルスで全国大会に進出することができましたが、団体は前年と同様に予選敗退という結果となりました。団体ではライバルである大分高専に再度敗北してしまい、シングルス、ダブルスもなかなか上位に入ることができませんでした。来年度は今年度の悔しい気持ちをばねに日々の練習法の改善を行い、個々の能力だけでなく団結力を高め、1人でも1チームでも多く全国大会に進出できるように練習に励んでいこうと思います。

また、今年度は6名のOBの方が佐世保高専に来ていただき初打ちをしました。例年お正月のお忙しい時期にお越しいただきありがとうございます。OBの方々にはいい結果を報告できるよう日々の練習を頑張りたいと思います。



(卓球部)

水泳部 電機電子工学科4年 松本 優音

私たち水泳部は、日頃から各個人でクラブや市民プールに通いながら活動しています。過去の自分よりも少しでも速くなるという気持ちを持って日々練習しており、大会で自己ベストが出た際の達成感はとても大きなものです。

そうした努力が身を結び、昨年の九州高専大会で上位入賞した7名が全国高専大会に出場することが出来ました。全国高専大会でも選手一人一人が最高の泳ぎを見せてくれました。また、高専大会では他の高専生とも交流ができとても有意義な時間でした。



(水泳部)

ロボコン部 電子制御工学科4年 森 優佐

ロボコンプロジェクトは10月に行われた高専ロボコン九州沖縄地区大会に参加しました。今大会は「ロボたちの帰還」という、ロボットがロボットを射出し、射出されたロボットがミッションをクリアし元の場所へ帰還するという高難易度な競技でした。本校からはニワトリとヒヨコの装飾を施したAチームの「Flyed Chicken」と、ゴキブリの装飾を施したBチームの「機動鎧虫 GOKI」が出場しました。両チームとも1勝1敗という成績で全国大会出場を逃しましたが、Bチームが特別賞(田中貴金属グループ)を受賞しました。

本年度は例年の3倍程度の新人部員が入部しました。次年度の大会までの期間では後輩たちの教育に注力したいと思います。今回の難しい競技を経験した後輩たちが来年度以降はより一層活躍してくれることと期待して本年度の振り返りとします。

平素より活動を支援いただいております顧問の先生方やOB・OGの皆様、応援していただいた皆様、ありがとうございました。



【10期卒業生 全学科合同古希同窓会の案内】

- ・令和7年10月22日(水) 17:00～
- ・セントラルホテル佐世保 Tel 0956-25-0001
- ・会費10,000円 宿泊費6,400円
- ・連絡先: 機械工学科 北島 廣之 Tel090-5920-7172
電気工学科 大久保 達 Tel080-2740-1202
工業化学科 山口 光吉 Tel090-4475-7233